

ひと まち 輝く  
キラリ<sup>★</sup>  
kirari

箕面市立みのお市民活動センター

(指定管理者:(特活)市民活動フォーラムみのお)

〒562-0013 箕面市坊島4-5-20

みのおキューズモールWEST1-2F

TEL. 072-720-3386 FAX. 072-720-3387

<http://www.shimink.jp/>

Vol. 7

令和2年(2020年)10月発行



トピック

人と人とのつながりで動く  
被災地支援

どんな形でも届けたい 紙芝居の魅力

箕面ユネスコ協会  
代表 坂口一美さん





## 人と人とのつながりで動く被災地支援

東北を中心に被災地支援をライフワークとする箕面ユネスコ協会代表の坂口一美さん。坂口さんの周りにはいつも元気なボランティア仲間の姿があります。協力する人をどんどん巻き込んでいくエネルギーあふれる坂口さんの活動の原点を探ります。

### 箕面ユネスコ協会との出会い

8年前まで箕面市の教育委員をされていた坂口さん。その関係で日本ユネスコ国内委員に就任し、まもなく東日本大震災が発生。地元の宮城県でご家族が被害にあい、被災地のために奔走された経験から、支援する側とされる側両方の立場で、一緒に活動する多くの仲間とつながりました。その時から現地での体験を伝えたい、子どもたちの教育に活かしたいと思うようになったそうです。ちょうどその頃ユネスコ連盟からの依頼を受け、2013年2月に箕面ユネスコ協会を立ち上げました。平和学習や国際理解、防災学習など、さまざまなテーマで箕面市内の小学校を中心に活動をされています。

### コロナ禍の中、泥かき用タオルの支援の動き

ここ数年の地震や豪雨災害で各地の被災地に入って活動していますが、4年前の熊本地震の際にも、いち早く行動を起こした坂口さん。そこでつながったのが熊本の障害者自立支援施設を運営する「NPO法人にしはらたんぼぼ

ハウス(以下、たんぼぼハウス)」です。当時、ボランティア派遣や炊き出しの拠点であり、箕面から何度もボランティアを連れて現れる坂口さんに、たんぼぼハウスのメンバーもすっかり仲間の関係に。この4年間で復興に欠かせない存在になっています。今年7月、そんな坂口さんに、たんぼぼハウスから物資の依頼が届きました。九州の広範囲で再び起こった河川氾濫の災害のためです。現地を知る坂口さんの経験から、災害後にすぐ必要になる泥かき用のタオルを集中して集めることになったのです。

### いつの間にか周囲を巻き込んでいく坂口さんの人柄とは?!

みのお市民活動センターを収集会場として来館者に呼びかけると同時にSNSで呼びかけてもらったら、なんと全国からタオルが段ボール100箱以上届きました。次はボランティア仲間の岩下八司さんに現地へ届けることを依頼。「岩下さんとは熊本でのボランティア活動で知り合い、すっかり意気投合! このつながりがあって、熊本県

と福岡県にタオル250箱を届けることができました。」と笑う坂口さんも、何事にも夢中で楽しみながら周囲を巻き込んでいく魅力的な人柄です。出会った人をいつの間にか被災地支援の渦の中に引き寄せていきます。引き寄せられた周囲の人たちは「私たちは被害者の会」と言いながら楽しくまきこまれています。

### 坂口さんの被災地支援の原動力になっているもの

「私のモットーは『他人事ではなく自分ごとにと捉える人を育てていく。』ということです。それは、本物に触れる、本物を見ることにつながります。実際に体験して感じることで、何が自分にできるかを探ることがとても大切です。私たちは被災地で多くのことを学んでいます。一方的な支援する側の関係ではなく相互支援なのです。その体験を多くの人たちに味わってほしい。」と熱い思いを語る坂口さん。そんな坂口さんの周りには美味しいものがあり、笑いがあふれ、楽しそうに語る人たちが自然と集まっているのでした。



## 箕面ユネスコ協会 Information

### 箕面ユネスコ協会

震災や災害の被災地応援を中心に地域の小中学校をつなぐ教育活動や、現地に出かけ交流する生徒や先生を支援する活動を行っている。また、発展途上の国の教育支援として、タイ、ネパール、カンボジア等へ学用品を届ける活動に取り組んでいる。

URL <https://www.unesco.or.jp/minoo/>

# どんな形でも届けたい 紙芝居の魅力

「人と本を紡ぐ会」は、市民に図書館や本を楽しく利用してもらうための活動をしています。中でも紙芝居を広める事業は豊富で、これまでイベントやコンクールなどを開催してきました。コンクール30周年を迎えるはずだった今年、新型コロナの影響で全てのイベントが中止に。代表の日根真理さんに現在の取り組みや思いをお聞きしました。

日根 真理さん



新型コロナウイルスの影響で本年度の紙芝居コンクールと紙芝居まつりの中止が決定し、子どもたちと接する機会が減っていた頃、外出自粛で学校にも図書館にも行けない子どもたちは家で何をしてるんだろう?と気になっていました。そこへ、元々青少年を守る会の知り合いで以前から紡ぐ会に協力してくれていたプロカメラマンの方から、「何か子どもたちのためにできることはないかな?」とお声がけいただき、紙芝居のYouTube 配信をすることになりました。

長年紙芝居コンクールを開催してきた中で、運営委員のメンバーに受賞者が何人もいました。著作権に縛られない紙芝居がたくさんあるのが強みです。長年演じてきた蓄積もあります。呼びかけたところ、「それいいね」と反応があって、みな練習して撮影に臨みました。「滝壺に落ちた刀」のような地域の民話から、「春でもないのにホーホケキョ」のようなコンクール受賞作、そして紙芝居を作る楽しさを伝える動画の合計10本をすべて字幕つきで配信しています。撮影のプロのご協力のおかげもあり、自慢の出来栄です。

それでも、紙芝居は会場との一体感や双方向のやりとりが醍醐味です。ぜひ生で見てほしいと思います。9月には手づくり紙芝居講座を開催します。マスク、消毒、3密対策をして、講師の方のリモート登壇もあります。

どんな形になっても、子どもたちに何かを届けたいという気持ちは変わらないですね。



## 人と本を紡ぐ会 Information

TEL 072-722-2615

Mail info@tsumugukai.com



YouTubeも  
こちらから



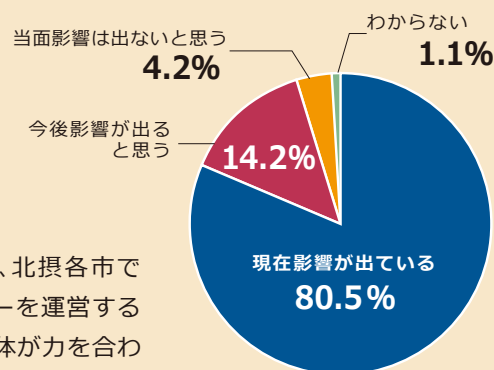
## 広がる助け合いの輪 地域循環型応援プロジェクト



**A子**「コロナ禍で存続の危機に追い込まれているNPOが多いんだって。事業収入や寄付が減ったり、活動場所が確保できないとか、活動の維持継続が難しいらしいよ」

**B子**「NPOっているんな分野で行政の手が届かないニーズに対応してるから、社会になくてはならない存在だよな。なくなると困る人が多いんじゃない?」

日本NPOセンターが今年4月、全国の約千団体を対象に行ったアンケートでは、コロナ禍で活動に「影響が出ている」「今後影響が出る」との回答が9割に上り(右図)、必要な支援策は「資金の支援」が最多でした。



この苦境に面し、北摂各市で市民活動センターを運営するNPO中間支援団体が力を合わせ『北摂NPO・SB支援緊急補助金プロジェクト(※)』を立ち上げました。広く寄付を募り、コロナ禍で困窮している人々を支援する公益活動にその寄付金を活かしてもらおう地域循環型の応援プロジェクトです。一人一人はわずかな金額でも多くの人からの寄付が集まれば大きな原資になります。長引くコロナ禍には、こうした共助の力が困難解決につながるのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染拡大への対応及び支援に関するNPO法人緊急アンケート

※プロジェクトの概要を本紙裏面でもご紹介しています。



## インフォメーション

# 北摂地域の NPO ソーシャルビジネス を応援しよう

地元(北摂)地域の社会的事業を応援しよう!

コロナ禍により影響を受けている社会的な事業を応援するため、北摂6市の市民活動の中間支援団体がプロジェクトを立ち上げました。現在第2期の補助金交付に向け、引き続き寄付金を募集しています。

### 北摂NPO・SB支援のための緊急補助金プロジェクト

下記の連絡先にお名前・ご住所等をご連絡いただき、お振込みください。

ゆうちょ銀行【記号】14070【番号】43866651  
【口座名】北摂NPO・SB支援のための緊急補助金プロジェクト

その他金融機関からのお振込み

ゆうちょ銀行【店名】四〇八【貯金種目】普通預金【口座番号】4386665

募金等をみのお市民活動センターほか、プロジェクト構成団体が運営する市民活動センター等に直接お持ちいただくこともできます。

※寄付の募集期限は2021年5月31日までとなります。

詳しくは特設サイト  
([https://peraichi.com/landing\\_pages/view/hokusetsu-support](https://peraichi.com/landing_pages/view/hokusetsu-support))  
をご覧ください。



#### プロジェクト構成団体

※北摂各市で市民活動センターを運営する団体で構成

池田市公益活動促進協議会、特定非営利活動法人 いばらき市民活動推進ネット、NPO法人 市民ネットすいた、高槻市市民公益活動サポートセンター管理運営委員会、特定非営利活動法人 とよなかESDネットワーク、特定非営利活動法人 市民活動フォーラムのの

## Q&A

### クイズコーナー

今回掲載記事に関するクイズです。  
本誌の記事をよく読めばヒントがあるかも?

【問題】

箕面の民話が題材となった紙芝居の演目、『滝壺に落ちた刀』の作中で、箕面の滝壺に落ちた刀はどこから見つかったでしょうか?

【ヒント】

吹田市内に現在もある場所です。  
答えは次ページのQRコードから、紙芝居をYouTubeでご覧ください。



## 市民活動

## フォーラム

## みのお

みのお市民活動センターを  
管理運営するNPO法人です。  
様々な課題に取り組む  
市民活動の応援をしています!

### センターではこんなサービスを提供しています!

誰でも使える…印刷機、コピー機、貸会議室等  
市民活動団体が使える…年登録制:

事務ブース(貸事務所機能)、貸倉庫

### 団体のお困りごとに答えます!

活動支援「夢の実支援金」…団体の立上げ、事業の拡充を資金面で応援します。

団体の運営課題の解決…事務力、広報力のスキルアップ講座を開催しています。

その他ホームページ、SNSでさまざまな情報発信をしています。

### 社会課題に取り組んでいる活動をアピールしています!

市民活動の紹介や被災地復興支援のイベント、市民社会講座やフォーラムを開催しています。

### 何かしたい!役立てたい!という思いに答えます!

ボランティア情報サイト v-info…ボランティア情報を発信しています。

NPO広報サポーター promo…団体の取材を通してNPOの活動を体感できます。

NPO・市民活動を紹介する冊子の発行等情報提供しています。

### 当法人のネットワークで、いろいろな分野をつなげます!

市民活動と企業、店舗、学校などと連携することで、強みを活かした活動につながります。

